



なのはな通信

25年度 六ツ美中部小学校
校長室だより No. 4
平成 25年 5月 7日

祝 松坂屋賞 春FBC中央審査

全国学力・学習状況調査

四月二十四日（水）全国の六年生が一斉に学力調査を行いました。国語A、B、算数A、Bと学習状況調査をして国が、次のような分析をします。①家庭状況等による教育格差と学力等の状況の把握・分析②国・教育委員会における教育施策の検証等（少人数学級等）③効果的な指導方法の把握・分析④学校における効果的な指導方法の把握・分析等です。もちろん、個人の学力分析を行い、全国平均や学校の指導方法の状況も把握されます。結果は、二学期に出ます。



四月二十四日、FBC中央審査が行われました。県から四名の審査員が来校し、デザイン、生育状況、管理状況、教育環境、地域への貢献などの観点で審査されました。五月三日、中日新聞で結果が発表され、県内では一四九校の参加、FBC大賞に旭南小学校が大賞を受賞しました。「豊かな矢作の流れ」をテーマに植えられた本校の花壇は「松坂屋賞」を受賞しました。堂々と春秋七回連続受賞です。今回も明生クラブの方々のご支援が大きな力になっています。ありがとうございます。

環境教室

今年も四年生が、アイシンエイダブリュ社会貢献グループと、アスクネット（特定非営利活動法人）のご支援によって環境学習を進めていきます。

次の文は、昨年のアイシン環境学習プログラムの感想です。「私は、シンパシーワークショップがすごく印象に残っています。理由は、動物たちは人間に住みかを取られてしまっていて人間の私たちが良くしなきゃいけないと思ったからです。」

「ぼくは、この一年間の環境学習をして感じたことは、水の生き物や、水の大切さなどを勉強して、世界には泥水を飲んでおなかをこわして死んでしまふ人がいたり、海にごみを捨てたり、水の生き物が生きられない環境になることが二度とならないように、これからはエコ活動に取り組んでいきたいと感じました。」



六年生のスタート 「世界に一つだけの花」

三人の先生たちによるギター演奏で、六年生のオープニングが行われました。七十三人の仲間としての絆を深めて、学校を引っ張って行くことを期待しています。

No.1 にならなくてもいい
花屋の店先に並んだ
ひとそれぞれ好みはあるけど
この中で誰が一番だなんて
バケツの中誇らしげに
それなのに僕ら人間は
どうしてこうも比べたがる？

もともと特別な Only one
いろんな花を見ていた
どれもみんなきれいだね
争う事もしないで
しゃんと胸を張っている

一人一人違うのにその中で一番になりたがる？
そうさ僕は
世界に一つだけの花
一人一人違う種を持つ
その花を咲かせることだけに
一生懸命になればいい



発行所 中部経済新聞社
 〒450-8561
 名古屋市中村区名駅4-4-10
 編集局 052(561)5212
 販売局 052(561)5216
 営業局 052(561)5213
 事業局 052(561)5675
 総務部 052(561)5215
 東京支社 03(3572)3601

中部経済新聞

THE MID-JAPAN ECONOMIST

2013年(平成25年)

4 / 18

木曜日(日刊)

◎ 第22266号

◎ 中部経済新聞社2013

科学への扉を開いて 理科実験教室 毎年開催

岡崎城南RC

岡崎城南ロータリークラブ(近藤憲康会長)は、子どもたちの「理科ばな



ワイングラスを使って音のメカニズムを学習(1月の理科実験教室)

れが指摘される昨今、少しでも理科への興味を深めてもらおうと毎年1回、岡崎市内の小学校で「おもしろ理科実験教室」を開いている。

今年1月には、岡崎市立六ツ美中部小学校で「グラスハープ」で探る音の不思議」をテーマに理科実験教室を後援した。産業技術総合研究所の小塚晃透博士を講師に迎え、6年生の児童に、ワイングラスを楽器として様々な「音」の変化を学習した。

参加した児童は、音が発生する時の水面の波動の様子に驚いたり、グループに分かれて童謡を演奏したり、楽しみながら「音」のメカニズムを学んだ。引率した岡崎城南RCのメンバーは「驚きや感動を通じて、少しでも理科に関心を持ってもらいたい。参加した児童の中から将来、研究者や物理学者が生まれれば」と期待を込めていた。

子ども達の素敵な笑顔が大好きです

岡崎城南ロータリークラブ



岡崎城南ロータリークラブは

「小学校理科実験教室」を

サポートしています

岡崎市康生町515-33 岡崎ニューグランドホテル内

TEL 0564-26-2666 FAX 0564-26-2667